

道徳教育で育成する資質・能力としての道徳性と、道徳教育・道徳科の学習の過程との関係をイメージしたもの。
道徳教育、道徳科の意義、特質から、これらの要素を分節して評価を行うことはなじまない。

	道徳的諸価値の理解と 自分自身に固有の 選択基準・判断基準の形成	生徒一人一人の 人間としての在り方生き方 についての考え(思考)	人間としてよりよく生きようとする 道徳性
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>道徳的諸価値の理解に基づき、自分自身に固有の選択基準・判断基準を形成すること</u> など 	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自分自身の人間としての在り方生き方についての考えを深めること</u> など 	<ul style="list-style-type: none"> ○人間としての在り方生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性 ・道徳的価値が大切なことなどを理解し、様々な状況下において人間としてどのように対処することが望まれるか判断する能力(道徳的判断力) ・人間としてのよりよい生き方や善を指向する感情(道徳的心情) ・道徳的価値を実現しようとする意志の働き、行為への身構え(道徳的実践意欲と態度) など
小学校、中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>道徳的諸価値の意義及びその大切さなどを理解すること</u> ・人間としてよりよく生きる上で、道徳的価値は大切なことであるというこの理解 ・道徳的価値は大切であっても、なかなか実現することができないことこの理解 ・道徳的価値を実現したり、実現できなかったりする場合の感じ方、考え方は多様であるということを前提とした理解 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深めること</u> (中学校) ・人生の意味をどこに求め、いかによりよく生きるかという人間としての生き方を主体的に模索する ・人間についての深い理解を鏡として行為の主体としての自己を深く見つめる (小学校) ・道徳的価値に関わる事象を自分自身の問題として受け止める ・他者の多様な考え方や感じ方に触れることで、自分の特徴などを知り、伸ばしたい自己を深く見つめる ・生き方の課題を考え、それを自己(人間として)の生き方として実現しようとする思いや願いを深める など 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己の(人間としての)生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性 ・道徳的価値が大切なことなどを理解し、様々な状況下において人間としてどのように対処することが望まれるか判断する能力(道徳的判断力) ・人間としてのよりよい生き方や善を指向する感情(道徳的心情) ・道徳的価値を実現しようとする意志の働き、行為への身構え(道徳的実践意欲と態度) など

道徳性を養うための学習を支える要素

道徳教育・道徳科で育てる資質・能力

道徳科

【学習】

道徳科の学習活動を支える要素

道徳教育・道徳科で育てることを目指す
資質・能力



道徳性を養うために行う道徳科における学習

道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の（人間としての）生き方についての考えを深める学習

道徳性

道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度

基盤となる

自立した人間として
他者と共によりよく生きる
実践（行為・表現など）

【評価】

積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として行う
道徳科の「学習状況及び道徳性に係る成長の記録」

観点別評価や他の児童生徒との比較ではなく、個人内評価として見取ったことを記述により表現する評価。個々の内容項目ごとではなく、大きくなまとまりを踏まえ、道徳科の学習を通じて、多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値を自分自身との関わりの中で深めようとしているかどうかに注目する。
(H28.7.29初等中等教育局長通知)

道徳教育の要として補い、深め、相互の関連を考慮して発展・統合させる

各教科等で育成する資質・能力
「学びに向かう力、人間性等」

各教科等

【学習】

各教科等の目標に基づく固有の指導

【評価】

「学びに向かう力、人間性等」に係る個人内評価

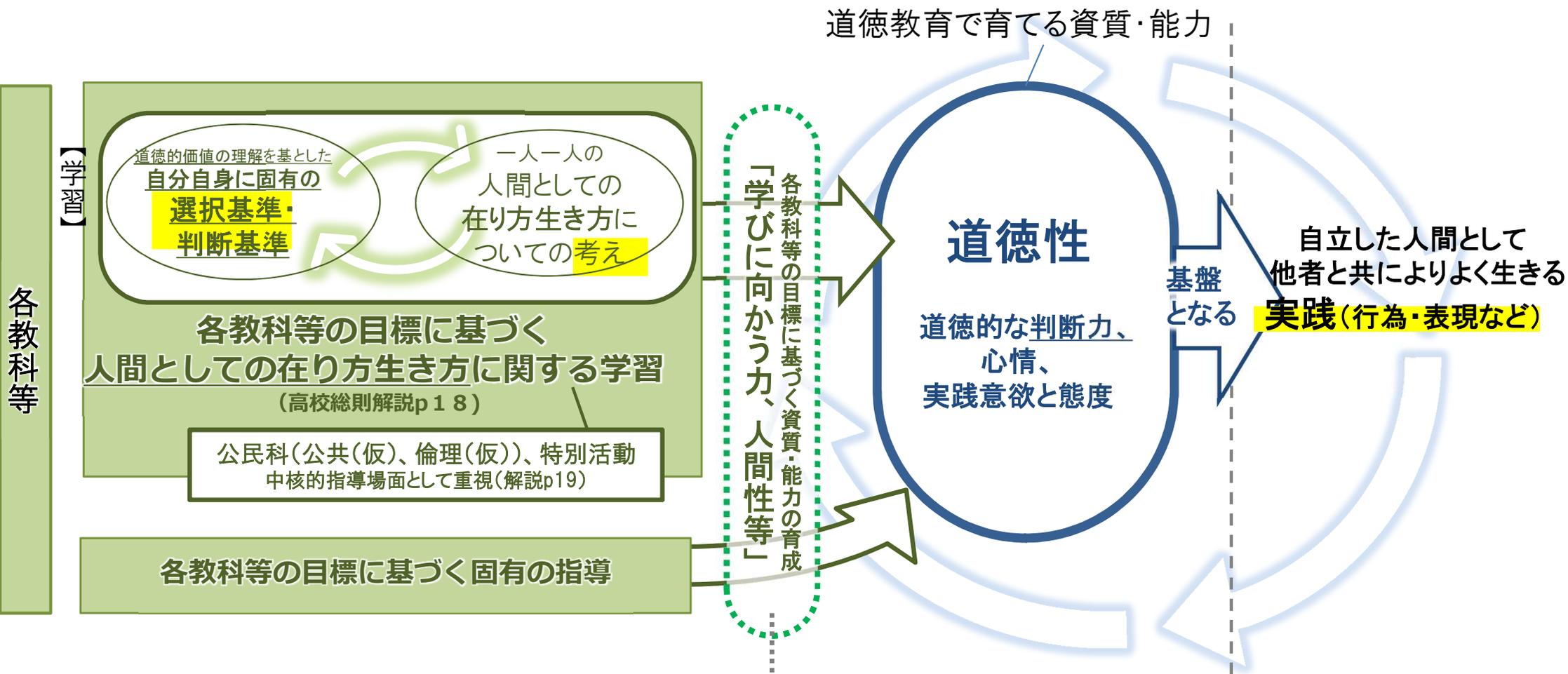
道徳性の育成は、「学びに向かう力・人間性」に深く関わる。「学びに向かう力・人間性」には、各教科等における観点別評価や評定にはなじまず、こうした評価では示しきれない部分がある。こうした部分については、個人内評価（個人の良い点や可能性、進歩の状況について評価する）を通じて見取る。
(H28.8.1「次期学習指導要領に向けたこれまでの審議のまとめ(素案)」教育課程企画特別部会)

〔学校生活全体において具体的な行動として見られる部分〕

児童生徒の具体的な行動に関する
「行動の記録」

各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動やその他学校生活全体にわたって認められる児童生徒の具体的な行動について記載する。

※ 本図は道徳性の育成に関わる学習（活動）に着目して整理したものであり、この他にも、道徳性が養われる過程には様々な整理の仕方があると考えられる。（例えば、実践を通して道徳性が養われることもある。）



【評価】 「学びに向かう力、人間性等」に係る個人内評価

道德性の育成は、「学びに向かう力・人間性」に深く関わる。
 「学びに向かう力・人間性」には、各教科等における観点別評価や評定にはなじまず、こうした評価では示しきれない部分がある。こうした部分については、個人内評価（個人の良い点や可能性、進歩の状況について評価する）を通じて見取る。

（H28.8.1「次期学習指導要領に向けたこれまでの審議のまとめ（素案）」教育課程企画特別部会）

（注）公民科の公共（仮）、倫理（仮）においては、選択や判断の基準の手掛かりとなる概念的な枠組みの理解等は観点別評価の対象となるが、道徳的諸価値の理解を基にした生徒一人一人に固有の選択基準・判断基準そのものや、一人一人の人間としての在り方生き方についての考えそのものを評価することはしない。

※ 本図は道德性の育成に関わる学習（活動）に着目して整理したものであり、この他にも、道德性が養われる過程には様々な整理の仕方があると考えられる。（例えば、実践を通して道德性が養われることもある。）

参考 「人間としての在り方生き方」について

	学習指導要領上の記述	趣旨（学習指導要領解説より）
高等学校	人間としての在り方生き方についての考えを深める	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>生きる主体としての自己を確立し、自らの人生観・世界観ないし価値観を形成し、主体性をもって生きたいという意欲を高める</u>（高等学校学習指導要領解説 総則編 p 18）
中学校	人間としての生き方についての考えを深める	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>人生の意味をどこに求め、いかによりよく生きるかという人間としての生き方を主体的に模索する</u> ・ <u>人間についての深い理解を鏡として行為の主体としての自己を深く見つめる</u> （中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 p 16 - 17）
小学校	自己の生き方についての考えを深める	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>道徳的価値に関わる事象を自分自身の問題として受け止められるようにする</u> ・ <u>他者との関わりや身近な集団の中で自分の特徴などを知り、伸ばしたい自己について深く見つめる</u> ・ <u>これからの生き方の課題を考え、それを自己の生き方として表現していこうとする思いや願いを深める</u> （小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 p 18）

◀道徳科における見方・考え方▶ 様々な事象を道徳的諸価値を基に自己との関わりで（広い視野から）多面的・多角的に捉え、自己の（人間としての）生き方について考えること

高等学校

◀道徳教育▶

（学校教育全体）

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、**（道徳的諸価値の理解を基に、自分自身の選択基準や判断基準を形成し）人間としての在り方生き方**を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる**道徳性を養う**ことを目標とする。

◀中核的な指導場面▶

特別活動

公民科（公共（仮称）、倫理（仮称））

各教科等

公共（仮称）は共通必修科目として、倫理（仮称）は選択科目として検討中

校長のリーダーシップの下
カリキュラム・マネジメントを担う
道徳教育推進教師を軸に、
全ての教員が実施

中学校

◀道徳教育▶

（学校教育全体）

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、**人間としての生き方**を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者とともによりよく生きるための基盤となる**道徳性を養う**ことを目標とする。

<p>◀道徳科▶ かなめ (要の時間)</p>	<p>道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 （＝道徳性）</p> <p>※道徳性の諸様相である「道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度」は相互に関係し合っており、切り分けられない。</p>
---------------------------------	---

道徳科において、各教科等における道徳教育としては取り扱う機会が十分でない内容項目に関する指導を補い、一層深め、内容項目の相互の関連を捉え直したり発展させたりする

特別活動

社会、各教科等

校長のリーダーシップの下、
カリキュラム・マネジメントを担う
道徳教育推進教師を軸に、
全ての教員が実施

小学校

◀道徳教育▶

（学校教育全体）

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、**自己の生き方**を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者とともによりよく生きるための基盤となる**道徳性を養う**ことを目標とする。

<p>◀道徳科▶ かなめ (要の時間)</p>	<p>道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 （＝道徳性）</p> <p>※道徳性の諸様相である「道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度」は相互に関係し合っており、切り分けられない。</p>
---------------------------------	--

道徳科において、各教科等における道徳教育としては取り扱う機会が十分でない内容項目に関する指導を補い、一層深め、内容項目の相互の関連を捉え直したり発展させたりする

特別活動

社会、各教科等

校長のリーダーシップの下、
カリキュラム・マネジメントを担う
道徳教育推進教師を軸に、
全ての教員が実施

幼児教育

【健康な心と体】

幼稚園生活の中で満足感や充実感を持って自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせながら取り組み、見通しを持って自ら健康で安全な生活を作り出していけるようになる。

【自立心】

自分の力で行うために思いを巡らし、自分でしなければならぬことを自覚して行い、諦めずにやり遂げることで満足感や達成感を味わいながら、自信を持って行動できるようになる。

【協同性】

友達との関わりを通じて、互いの思いや考えなどを共有し、実現に向けて、工夫したり、協力したりする充実感を味わいながらやり遂げるようになる。

【道徳性・規範意識の芽生え】

よいことや悪いことが分かり、相手の立場に立って行動するようになり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、決まりの大切さが分かり守るようになる。

【社会生活との関わり】

家族を大切にしようとする気持ちを持ちつつ、いろいろな人と関わりながら、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に一層の親しみを持つようになる。/ 情報を伝え合ったり、情報に基づき思い合わせたりするようになるとともに、公共の施設を大切にしたり、社会全体とのつながりの意識等が芽生えるようになる。

【思考力の芽生え】

身近な事象に好奇心や探究心を持って思いを巡らしながら積極的に関わり、物の性質や仕組み等に気付いたり、予想したり、工夫したりなどして多様な関わりを楽しむようになるとともに、友達と考えを思い合わせるなどして、新しい考えを生み出す喜びを感じながら、よりよいものにするようになる。

【自然との関わり・生命尊重】

- ・自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、身近な事象に関心への関心が高まりつつ、自然への愛情や畏敬の念を持つようになる。
- ・身近な動植物を命あるものとして、いたわり大切にする気持ちを持つようになる。

道徳的価値を認識できる能力の程度や社会認識の広がり、生活技術の習熟度などに応じて深まる

	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義の理解。 ○ 様々な集団活動を実践する上で必要となることの理解や技能。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 所属する様々な集団や自己の生活上の課題を見だし、その解決のために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく構築したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主的・実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かし、人間関係をよりよく構築しようとしたり、集団生活や社会をよりよく形成しようとしたり、人間としての在り方生き方についての考えを深め自己の実現を図ろうとしたりする態度。
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義の理解。 ○ 様々な集団活動を実践する上で必要となることの理解や技能。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 所属する様々な集団や自己の生活上の課題を見だし、その解決のために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく構築したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主的・実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かし、人間関係をよりよく構築しようとしたり、集団生活や社会をよりよく形成しようとしたり、人間としての生き方についての考えを深め自己の実現を図ろうとしたりする態度。
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義の理解。 ○ 様々な集団活動を実践する上で必要となることの理解や技能。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 所属する様々な集団や自己の生活上の課題を見だし、その解決のために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく構築したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主的・実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かし、人間関係をよりよく構築しようとしたり、集団生活をよりよく形成しようとしたり、自己の生き方についての考えを深め自己の実現を図ろうとしたりする態度。

特別活動における教育のイメージ

《特別活動における「見方・考え方」(集団や社会の形成者としての見方・考え方)》

各教科等における「見方・考え方」を総合的に活用して、**集団や社会における問題を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現**に関連付けること

特別活動における自主的・実践的な活動や生徒指導の機能、ガイダンスの機能が学級生活の基盤、学校生活の基盤をつくる

【高等学校】

- ◎ **集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせて、様々な集団活動に自主的・実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら葛藤や問題解決を繰り返すことを通して**、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。
 - 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、そうした実践をする上で必要となることを理解し技能を身に付ける。
 - 所属する様々な集団や自己の生活上の課題を見だし、その解決のために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく構築したりすることができるようにする。
 - 自主的・実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かし、人間関係をよりよく構築しようとしたり、集団生活や社会をよりよく形成しようとしたり、人間としての在り方生き方についての考えを深め自己の実現を図ろうとしたりする態度を育てる。

【中学校】

- ◎ **集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせて、様々な集団活動に自主的・実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら直面する課題を解決することを通して**、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。
 - 多様な他者と協働するの様々な集団活動の意義や、そうした実践をする上で必要となることを理解し技能を身に付ける。
 - 所属する様々な集団や自己の生活上の課題を見だし、その解決のために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく構築したりすることができるようにする。
 - 自主的・実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かし、人間関係をよりよく構築しようとしたり、集団生活や**社会**をよりよく形成しようとしたり、**人間として**の生き方についての考えを深め自己の実現を図ろうとしたりする態度を育てる。

【小学校】

- ◎ **集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせて、様々な集団活動に自主的・実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を改善することを通して**、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。
 - 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、そうした実践をする上で必要となることを理解し技能を身に付ける。
 - 所属する様々な集団や自己の生活上の課題を見だし、その解決のために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく構築したりすることができるようにする。
 - 自主的・実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かし、人間関係をよりよく構築しようとしたり、集団生活をよりよく形成しようとしたり、自己の生き方についての考えを深め自己の実現を図ろうとしたりする態度を育てる。

↑ 生活範囲や人間関係の多様性の広がり

集団活動を通じた学級・学校文化の創造

学校の教育目標

各教科等

○学級経営の充実を図る特別活動の役割や、学びに向かう学習集団の形成への寄与により、各教科等における「主体的な学び」「協働的な学び」がより充実する。
○特別活動において、各教科等における「見方や考え方を効果的に活用することによって、より実践的な文脈で見方や考え方を活用することができるようになるなど、教科等の見方や考え方が成長し、「深い学び」が実現する。

【幼児教育】

【健康な心と体】

・幼稚園生活の中で満足感や充実感を持って自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせながら取り組み、見通しを持って自ら健康で安全な生活を作り出していけるようになる。

【自立心】

・自分の力で行うために思いを巡らし、自分でしなければならないことを自覚して行い、諦めずやり遂げることで満足感や達成感を味わいながら、自信を持って行動するようになる。

【協同性】

・友達との関わりを通じて、互いの思いや考えなどを共有し、実現に向けて、工夫したり、協力したりする充実感を味わいながらやり遂げるようになる。

【道徳性・規範意識の芽生え】

・よいことや悪いことが分かり、相手の立場に立って行動するようになり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、決まりの大切さが分かり守るようになる。

【社会生活との関わり】

・家族を大切にしようとする気持ちを持ちつつ、いろいろな人と関わりながら、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に一層の親しみを持つようになる。
・情報を伝え合ったり、情報に基づき思い合わせたりするようになるとともに、公共の施設を大切にしたり、社会全体とのつながりの意識等が芽生えるようになる。

【思考力の芽生え】

・身近な事象に好奇心や探究心を持って思いを巡らしながら積極的に関わり、物の性質や仕組み等に気付いたり、予想したり、工夫したりなどして多様な関わりを楽しむようになるとともに、友達と考えを思い合わせるなどして、新しい考えを生み出す喜びを感じながら、よりよいものにするようになる。

【自然との関わり・生命尊重】

・自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、身近な事象への関心が高まりつつ、自然への愛情や畏敬の念を持つようになる。
・身近な動植物を命あるものとして、いたわり大切にする気持ちを持つようになる。

学級(ホームルーム)活動

①問題の発見・確認

活動内容	(i)学級や学校における生活の諸問題に気付き、その中から議題を学級全員で決定する。話し合いの計画を立て、解決に向けて自分の考えをもつ。 (ii)日常生活や自己の課題、目標、学業や進路に関する内容について、教師が設定した課題を確認し、解決の見通しをもつ。
資質・能力 (例)	○:情報の収集・整理などを通し、学級や学校生活、地域・社会の課題を発見する力 □:自己の課題に気づく力、自己の適性を把握する力 □:目標を設定する力

②解決方法の話し合い

活動内容	(i)よりよい生活をつくるための問題の原因や具体的な解決方法、役割分担などについて話し合う。 (ii)設定された課題の状況や自分の問題の状況を把握し、原因や具体的な解決方法などについて話し合う。
資質・能力 (例)	○:集団活動における自己の役割やその意義についての理解 ○:協働して問題を解決しようとする態度 □:生活を改善したり、将来を見通して自己の生き方を選択したりできる力

◇:よりよい人間関係を育むための思考力・判断力・表現力など

⑤振り返り

活動内容	実践を定期的に振り返り、意識化を図るとともに、結果を分析し次の課題解決に生かす。実践の継続や新たな課題の発見につなげる。
資質・能力 (例)	○:希望や目標をもって現在の生活を改善しようとする態度 ○:よりよい生活をつくろうとする態度 □:学級や学校の中で自分のよさや可能性を生かそうとする態度 □:自己を生かせる生き方や職業を主体的に選択しようとする態度

④決めたことの実践

活動内容	決定した解決方法や活動内容を責任をもって実践する。
資質・能力 (例)	○:合意形成を図る力、責任ある行動をとることができる力 ○:課題解決に向かおうとする情意や態度 ○:よりよい生活をつくろうとする態度 □:日常の生活を改善する力、自己の在り方を改善することができる力、意志決定する力

③解決方法の決定

活動内容	話し合い活動で具体化された解決方法等の中から合意形成を図ったり、意思決定したりする。
資質・能力 (例)	○:合意形成を図る力、責任ある行動をとることができる力 ○:課題解決に向かおうとする情意や態度 ○:よりよい生活をつくろうとする態度 □:日常の生活を改善する力、自己の在り方を改善することができる力、意志決定する力

次の課題解決へ

※特別活動で育成すべき資質・能力の3つの視点・・・◇:人間関係形成、○:社会参画、□:自己実現

※ここで示した過程は例であり、活動の順序が入れ替わったり、一体化したり、重点的に行われたり、一連の過程がより大きな過程の一部になったりする。

※実践の場合は、休み時間や給食の時間、放課後など、必ずしも特別活動の時間とは限らない。

特別活動における児童会活動・生徒会活動の学習過程のイメージ

児童会活動・生徒会活動

①問題の発見・確認、議題の設定

活動内容

児童会、生徒会、各種委員会等における役割の決定及び選定(互選や選挙)
 代表委員会、生徒評議会:学校における問題の発見・確認
 各種委員会:所属する委員会の所掌の範囲内における学校の問題の発見・確認
 生徒総会(中学校、高等学校のみ):学校の取組に関する計画の設定及び報告等、議題の提示

資質・能力
(例)

- :情報の収集・整理などを通し、学校・地域・社会の課題を発見する力
- :学校や地域・社会の形成者として、よりよい生活をつくろうとする態度
- :目標を設定する力

②解決に向けての話合い

発見した問題の解決の方向性や解決方法、役割分担などについて話し合う
 生徒総会:議題に関する解決方法についての説明

- :集団活動における自己の役割やその意義についての理解
- :よりよい生活をつくろうとする態度
- :協働して問題を解決しようとする態度

◇:よりよい人間関係を育むための思考力・判断力・表現力など

⑤振り返り

実践を定期的に振り返り、意識化を図るとともに、実践の継続や新たな課題の発見につなげる。結果を分析し次の課題解決に生かす。

- :よりよい生活をつくろうとする態度
- :問題を解決し、よりよい生活を作ろうとする態度
- :学校の中で自分のよさや可能性を生かそうとする態度

④決めたことの実践

解決方法や活動内容について、各学級や各委員会への周知等、解決方法の実践
 生徒総会:議決された事項について実践

- :合意形成を図る力、責任ある行動をとることができる力
- :課題解決に向かおうとする情意や態度
- :よりよい生活をつくろうとする態度
- :集団活動における自己の役割やその意義についての理解

③解決方法の決定

解決方法や活動内容についての合意形成
 生徒総会:解決方法への賛否の表明、議決

次の課題解決へ

※特別活動で育成すべき資質・能力の3つの視点…◇:人間関係形成、○:社会参画、□:自己実現

※ここで示した過程は例であり、活動の順序が入れ替わったり、一体化したり、重点的に行われたり、一連の過程がより大きな過程の一部になったりする。

特別活動におけるクラブ活動の学習過程のイメージ

クラブ活動

①クラブ活動の設置

活動内容

自分の興味・関心に基づき、新たに作り
たいクラブを提案する。
※提案等に基づきクラブを設置する。

資質・能力
(例)

○: 発意、発想を生かそうとする態度
□: 学校生活の中で自分のよさや可能性
を生かそうとする態度

②クラブへの所属

自分の希望により、所属するクラブを決定する。

○: 発意、発想を生かそうとする態度
□: 学校生活の中で自分のよさや可能性を生か
そうとする態度

③計画や運営についての話し合い

クラブの目当てや自分の目当てを話し合う。
発意・発想を生かして、クラブの内容や活動計画につ
いて話し合う。
役割分担を行う。

○: 多様な他者の意見を尊重し、進んで合意形成を
図ろうとする態度
□見通しをもって活動できる力

◇: よりよい人間関係を育むための思考力・判断力・表現力など

⑤振り返り

活動を振り返り、次の活動に生かす。

○: よりよい生活をつくろうとする態度
□: 学校の中で自分のよさや可能性を生かそう
とする態度

④クラブの活動や成果の発表

クラブの活動を通して共通の興味・関心を追求する。
年間の活動内容や成果の発表をする。
※異学年の児童と協力して活動する。
※計画的・継続的に実施する。

○: 合意形成を図る力、責任ある行動をとることができる力
○: よりよい生活を協働してつくろうとする態度
○: 自己の役割や責任を進んで果たすことができる力

③計画や運営方針の決定

合意形成を図り、クラブの内容や計画、役割を
決める。クラブの目当てや自分の目当てを決
める。

次年度
の活動に
興味・関心
の追求
に生かす

※特別活動で育成すべき資質・能力の3つの視点…◇:人間関係形成、○:社会参画、□:自己実現

※ここで示した過程は例であり、活動の順序が入れ替わったり、一体化したり、重点的に行われたり、一連の過程がより大きな過程の一部になったりする。

特別活動における学校行事の学習過程のイメージ

学校行事

①行事の意義の理解

活動内容

各行事(儀式的行事、文化的行事、健康安全・体育的行事、遠足・集团的行事、勤労生産・奉仕的行事)の意義の理解。
現状の把握、課題の確認、目標の設定を行う。

資質・能力
(例)

- : 学校生活の中で自分のよさや可能性を生かそうとする態度
- : 所属感、連帯感

②計画や目標についての話し合い

学校が設定する計画等に基づき、各行事について活動目標、計画、内容、役割分担などについて話し合う。

- : 多様な他者の意見を尊重し、進んで合意形成を図ろうとする態度
- : 所属感、連帯感

◇: よりよい人間関係を育むための思考力・判断力・表現力など

⑤振り返り

次の活動や課題解決へ

活動を振り返り、まとめたり発表し合ったりする。
実践の継続や新たな課題の発見につなげる。
結果を分析し次の行事や次年度の行事に生かす

- : よりよい生活をつくらうとする態度
- : 所属感、連帯感、達成感
- : 学校の中で自分のよさや可能性を生かそうとする態度

④体験的な活動の実践

他者と力を合わせて実践する。
※行事により、児童会、生徒会活動と連携を図るなど、自主的に運営する。

- : 合意形成を図る力
- : 自己の役割や責任を進んで果たすことができる力
- : 仲間とやり遂げることによる所属感、連帯感、達成感
- : 自己有用感、困難な課題に挑む意欲、向上心
- : 忍耐力、精神力

③活動目標や活動内容の決定

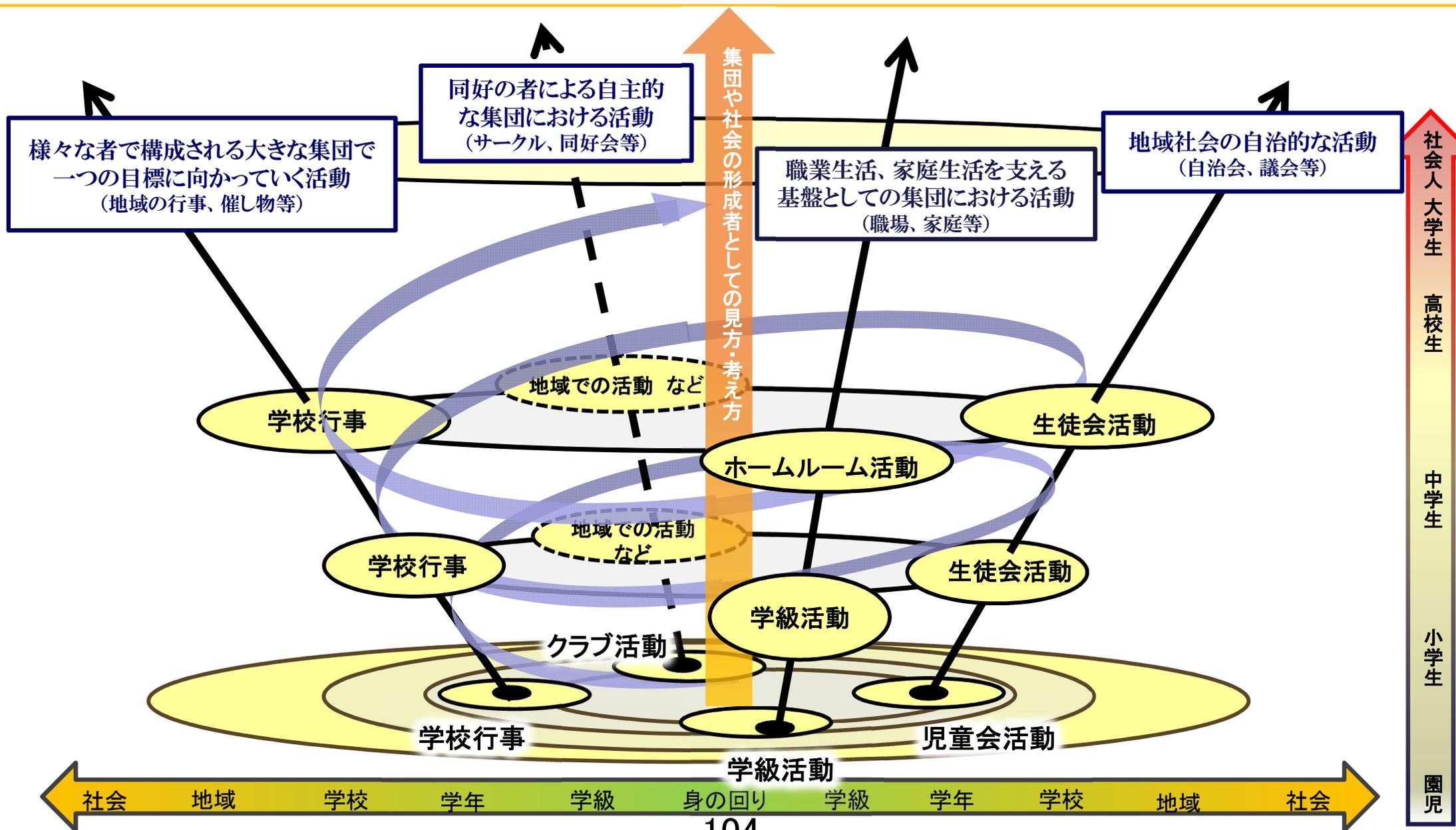
活動目標や計画、内容について合意形成を図る。

※特別活動で育成すべき資質・能力の3つの視点…◇: 人間関係形成、○: 社会参画、□: 自己実現

※ここで示した過程は例であり、活動の順序が入れ替わったり、一体化したり、重点的に行われたり、一連の過程がより大きな過程の一部になったりする。

《集団や社会の形成者としての「見方・考え方」》

各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、**集団や社会における問題を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現**に関連付けること



育成を目指す資質・能力の視点

人間関係形成

社会参画

自己実現

社会参画

- ・よりよい学級(ホームルーム)・学校生活づくりなど、集団や社会に参画し様々な問題を主体的に解決しようとする視点。地域や社会に対する参画、社会貢献や持続可能な社会の担い手になっていくことにつながる。
- ・社会参画に必要な資質・能力は、個人が集団へ主体的に関与する中で育まれるものと考えられる。

自己実現

- ・現在及び将来の自己の生活の課題を発見しよりよく改善しようとする視点。
- ・自己実現に必要な、自己の理解を深め、自己のよさや可能性を生かす力、自己の在り方生き方を考え設計する力は、集団の中において、個々人が共通して当面する現在及び将来に関わる問題を考察する中で育まれるものと考えられる。

集団・社会

自己

他者

人間関係形成

- ・集団の中で、人間関係を自主的、実践的によりよいものへと形成する視点。
- ・必要な資質・能力は、集団の中において、特別活動の学習過程全体を通して、個人対個人という関係性の中で育まれるものと考えられる。
- ・属性、考え方や関心、意見の違いを理解した上で認め合い、互いのよさを生かすような関係をつくることが重要。

※発達の段階に応じて、集団や社会の範囲が拡大し、他者との関わりが多様になり、扱う問題が高度化する。また、様々な場面において、強い意志 や忍耐力、想定外のことに対応する力などが求められることとなる。

（学級活動の改善の方向性）

特別活動で育成を目指す資質・能力の3つの視点（人間関係形成、社会参画、自己実現）や、総則の構成や社会の要請などを踏まえて整理すべき視点など、教育課程全体における特別活動の役割も踏まえて、各活動の内容構成の構造を整理し、趣旨を明確化する

3つの視点



現行の小学校学習指導要領(特別活動)

第2 各活動・学校行事の目標及び内容

〔学級活動〕

(1) 学級や学校の生活づくり

- ◇○□ ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
- ◇○□ イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理
- ◇○□ ウ 学校における多様な集団の生活の向上

(2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全

- ◇○□ ア 希望や目標をもって生きる態度の形成
- ◇○□ イ 基本的な生活習慣の形成
- ◇○□ ウ 望ましい人間関係の形成
- ◇○□ エ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解
- ◇○□ オ 学校図書館の利用
- ◇○□ カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
- ◇○□ キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

総則の構成や社会の要請などを踏まえて整理すべき視点(例)

社会参画・自治の視点

学級経営と関連する視点

多様性を尊重する社会の視点

生活指導、生徒指導と関連する視点

学校段階間の接続の視点

多様性を尊重する社会の視点

キャリア形成の視点

主体的な学びの視点

心身の健康、安全・防災の視点

食育の視点

改善のイメージ案

(1) 学級や学校における集団生活の創造、実現(仮)
⇒主として自発的・自治的な集団活動の形成や運営に関わる内容であり、集団としての議題の選定や話し合い、合意形成(集団決定)とそれに基づく実践を大事にする活動。

例) 学級や学校における生活上の諸問題の解決、学級内の組織づくりや役割分担、学校における多様な集団生活の向上など集団生活の形成や運営、向上に関する内容

※日々の学級経営との関連を図る

(2) 一人一人の適応や成長及び健康安全な生活の実現(仮)
⇒主として個人が現在直面する生活における適応や成長、自律等に関わる内容であり、一人一人の理解や自覚、意思決定(自己決定)とそれに基づく実践等を大事にする活動。

例) 希望や目標の設定、基本的な生活習慣や健康で安全な生活態度の形成、食育の観点を踏まえた学校給食や望ましい食習慣の形成、当番活動や働くことの意義の理解、学校図書館の利用など、一人一人の児童の学校生活や学習への適応及び健康安全に関する内容

※関係する教科、個別の生徒指導等との関連を図る

(3) 一人一人のキャリア形成と実現(仮)
⇒主として将来に向けた自己の実現に関わる内容であり、一人一人の主体的な意思決定を大事にする活動。教育課程全体を通して行うキャリア教育との関連を図るとともに、個に応じた学習の指導・援助や、個別の進路相談等との関連を図る。

各項目と3つの視点との関係は、主として指導にあたって特に意識すべきと考えられる視点を強調して示しているが、それ以外の視点とも相互に関わりあっている。

中学校特別活動の内容の構成（学級活動）のイメージ

（学級活動の改善の方向性）

特別活動で育成を目指す資質・能力の3つの視点（人間関係形成、社会参画、自己実現）や、総則の構成や社会の要請などを踏まえて整理すべき視点など、教育課程全体における特別活動の役割も踏まえて、各活動の内容構成の構造を整理し、趣旨を明確化する

3つの視点



現行の中学校学習指導要領（特別活動）

第2 各活動・学校行事の目標及び内容

〔学級活動〕

(1) 学級や学校の生活づくり

- ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
- イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理
- ウ 学校における多様な集団の生活の向上

(2) 適応と成長及び健康安全

- ア 思春期の不安や悩みとその解決
- イ 自己及び他者の個性の理解と尊重
- ウ 社会の一員としての自覚と責任
- エ 男女相互の理解と協力
- オ 望ましい人間関係の確立
- カ ボランティア活動の意義の理解と参加
- キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成
- ク 性的な発達への対応
- ケ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

(3) 学業と進路

- ア 学ぶことと働くことの意義の理解
- イ 自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用
- ウ 進路適性の吟味と進路情報の活用
- エ 望ましい勤労観・職業観の形成
- オ 主体的な進路の選択と将来設計

総則の構成や社会の要請などを踏まえて整理すべき視点(例)

社会参画・自治の視点

学級経営と関連する視点

生活指導、生徒指導と関連する視点

学校段階間の接続の視点

多様性を尊重する社会の視点

社会参画の視点

心身の健康、安全・防災等の視点

食育の視点

主体的な学びの視点

キャリア形成の視点

個に応じた学習の支援や進路指導と関連する視点

改善のイメージ案

(1) 学級や学校における集団生活の創造、参画(仮)
⇒主として自発的・自治的な集団活動の形成や運営に関わる内容であり、集団としての議題の選定や話し合い、合意形成(集団決定)とそれに基づく実践を大事にする活動。

例) 学校における多様な集団生活の向上、学級や学校における生活上の諸問題の解決、学級内の組織づくりと役割分担など、校内におけるよりよい集団生活の形成や運営、向上に関する内容

※日々の学級経営との関連を図る

(2) 一人一人の適応や成長及び健康安全な生活の実現(仮)
⇒主として個人が現在直面する生活における適応や成長、自律等に関わる内容であり、一人一人の理解や自覚、意思決定(自己決定)とそれに基づく実践等を大事にする活動。

例) 男女相互の理解と協力などの多様性を尊重した望ましい人間関係の形成や、思春期の不安や悩みや性的な発達への対応、食育の視点や学校給食、食習慣の形成など、生徒個人の適応や成長及び健康安全に関する内容

※関係教科、個別の生活指導や生徒指導との関連を図る

(3) 一人一人のキャリア形成と実現(仮)
⇒主として将来に向けた自己の実現に関わる内容であり、一人一人の主体的な意思決定を大事にする活動。教育課程全体を通して行うキャリア教育との関連を図るとともに、個に応じた学習の指導・援助や、個別の進路相談等との関連を図る。

例) 学校図書館の利用など、学びと社会生活・職業生活の接続と振り返り(ポートフォリオ)、ボランティア活動の充実や勤労観・職業感の育成を含むなど、自己のキャリア形成と実現に関する内容

* 高等学校においては、社会的移行への対応を含む

高等学校特別活動の内容の構成（ホームルーム活動）のイメージ

（ホームルーム活動の改善の方向性）

特別活動で育成を目指す資質・能力の3つの視点（人間関係形成、社会参画、自己実現）や、総則の構成や社会の要請などを踏まえて整理すべき視点など、教育課程全体における特別活動の役割も踏まえて、各活動の内容構成の構造を整理し、趣旨を明確化する

3つの視点



現行の高等学校学習指導要領（特別活動）

第2 各活動・学校行事の目標及び内容

〔学級活動〕

(1)ホームルームや学校の生活づくり

- ◇○□ ア ホームルームや学校における生活上の諸問題の解決
- ◇○□ イ ホームルーム内の組織づくりと自主的な活動
- ◇○□ ウ 学校における多様な集団の生活の向上

(2)適応と成長及び健康安全

- ◇○□ ア 青年期の悩みや課題とその解決
- ◇○□ イ 自己及び他者の個性の理解と尊重
- ◇○□ ウ 社会生活における役割の自覚と自己責任
- ◇○□ エ 男女相互の理解と協力
- ◇○□ オ コミュニケーション能力の育成と人間関係の確立
- ◇○□ カ ボランティア活動の意義の理解と参画
- ◇○□ キ 国際理解と国際交流
- ◇○□ ク 心身の健康と健全な生活態度や規律ある習慣の確立
- ◇○□ ケ 生命の尊重と安全な生活態度や規律ある習慣の確立

(3)学業と進路

- ◇○□ ア 学ぶことと働くことの意義の理解
- ◇○□ イ 主体的な学習態度の形成と学校図書館の利用
- ◇○□ ウ 教科・科目の適切な選択
- ◇○□ エ 進路適性の理解と進路情報の活用
- ◇○□ オ 望ましい勤労観・職業観の確立
- ◇○□ カ 主体的な進路の選択決定と将来設計

総則の構成や社会の要請などを踏まえて整理すべき視点(例)

社会参画・自治の視点

ホームルーム経営と関連する視点

生活指導、生徒指導と関連する視点

学校段階間の接続の視点

多様性を尊重する社会の視点

社会参画の視点

心身の健康、安全・防災等の視点

食育の視点

主体的な学びの視点

キャリア形成の視点

個に応じた学習の支援や進路指導と関連する視点

改善のイメージ案

(1)ホームルームや学校における集団生活の創造、参画(仮)
⇒主として自発的・自治的な集団活動の形成や運営に関わる内容であり、集団としての議題の選定や話し合い、合意形成(集団決定)とそれに基づく実践を大事にする活動。

例) 学校における多様な集団生活の向上、ホームルームや学校における生活上の諸問題の解決、ホームルーム内の組織づくりと役割分担など、校内におけるよりよい集団生活の形成や運営、向上に関する内容
※日々のホームルーム経営との関連を図る

(2)一人一人の適応や成長及び健康安全な生活の実現(仮)
⇒主として個人が現在直面する生活における適応や成長、自律等に関わる内容であり、一人一人の理解や自覚、意思決定(自己決定)とそれに基づく実践等を大事にする活動。

例) 男女相互の理解と協力やコミュニケーション能力の育成、国際理解・国際交流などの多様性を尊重した望ましい人間関係の形成や社会参画、青年期の不安や悩みとその解決、心身の健康と健全な生活態度、生命の尊重と安全な生活態度、規律ある習慣の確立など、生徒個人の適応や成長及び健康安全に関する内容
※関係教科、個別の生活指導や生徒指導との関連を図る

(3)一人一人のキャリア形成と実現(仮)
⇒主として将来に向けた自己の実現に関わる内容であり、一人一人の主体的な意思決定を大事にする活動。教育課程全体を通して行うキャリア教育との関連を図るとともに、個に応じた学習の指導・援助や、個別の進路相談等との関連を図る。

例) 学校図書館の利用など、学びと社会生活・職業生活の接続と振り返り(ポートフォリオ)、ボランティア活動の充実や勤労観・職業感の育成、社会的移行への対応など、自己のキャリア形成と実現に関する内容

各項目と3つの視点との関係は、主として指導にあたって特に意識すべきと考えられる視点を強調して示しているが、それ以外の視点とも相互に関わりあっている。

国が定める目標及び各学校の教育目標に基づき各学校において設定

	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題について横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して獲得する知識（及び概念） ○ 課題について横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して獲得する技能 ○ 探究することの意義や価値の理解 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 探究することを通して身に付ける課題を見だし解決する力 <ul style="list-style-type: none"> ・課題設定 ・情報収集 ・整理・分析 ・まとめ・表現 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的に探究することの経験の蓄積を信念や自信、自己肯定感につなげ、さらに高次の課題に取り組もうとする態度を育てる。 ○ 協同的（協働的）に探究することの経験の蓄積を自己有用感や社会貢献の意識へとつなげ、よりよい社会の実現に努めようとする態度を育てる。 など
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題について横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して獲得する知識（及び概念） ○ 課題について横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して獲得する技能 ○ 探究的な学習のよさの理解 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 探究的な学習を通して身に付ける課題を見だし解決する力 <ul style="list-style-type: none"> ・課題設定 ・情報収集 ・整理・分析 ・まとめ・表現 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的な探究活動の経験を自己の成長と結び付け、次の課題へ積極的に取り組もうとする態度を育てる。 ○ 協同的（協働的）な探究活動の経験を社会の形成者としての自覚へとつなげ、積極的に社会参画しようとする態度を育てる。 など
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題について横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して獲得する知識（及び概念） ○ 課題について横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して獲得する技能 ○ 探究的な学習のよさの理解 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 探究的な学習を通して身に付ける課題を見だし解決する力 <ul style="list-style-type: none"> ・課題設定 ・情報収集 ・整理・分析 ・まとめ・表現 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的な探究活動の経験を自信につなげ、次の課題へ進んで取り組もうとする態度を育てる。 ○ 協同的（協働的）な探究活動の経験を実社会・実生活への興味・関心へとつなげ、進んで地域の活動に参加しようとする態度を育てる。など

教育課程全体における「主体的・対話的で深い学び」に向けた学習活動を支える

高等学校の総合的な学習の時間を、より探究的な時間となるよう位置づける

- ・ 探究する能力を育むための総仕上げとしての在り方を明確化し、名称も見直す（例えば「総合的な探究の時間」とする等）
- ・ 特定の分野を前提とせず、実社会・実生活から自ら見出した課題を探究することを通じて、より自分のキャリア形成の方向性を考える
- ・ 生徒が主体的に探究していくことを助ける教材等の作成も検討

< 探究の見方・考え方 >「各教科等における見方・考え方を総合的・統一的に活用して、広範かつ複雑な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会や実生活の複雑な文脈や自己の在り方生き方と関連付けて問い続けること」

【高等学校】

◆学習指導要領で示す目標（イメージ）

探究の見方・考え方を働かせ、よりよく課題を解決し、自己の在り方生き方を考えることを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- 課題（学習対象）に関する概念的知識を獲得し、課題の解決に必要な知識や技能を身に付け、探究の意義や価値を理解するようにする
- 実社会や実生活の中から問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する力を育成する
- 主体的・協同的（協働的）に課題を探究し、互いのよさを生かしながら、新たな価値の創造やよりよい社会の実現に努めようとする態度を育てる

◆各学校が設定する目標：上記を踏まえ各学校が目標を設定し、その目標を踏まえた内容を定める。

→各学校の教育目標に直接つながり、その高校のミッションを体現するものとなるようにする

【中学校】

< 探究的な見方・考え方 >「各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会や実生活の文脈や自己の生き方と関連付けて問い続けること」

◆学習指導要領で示す目標（イメージ）

探究的な見方・考え方を働かせ、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えることを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- 課題（学習対象）に関する概念的知識を獲得し、課題の解決に必要な知識や技能を身に付け、探究的な学習のよさを理解するようにする
- 実社会や実生活の中から問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する力を育成する
- 主体的・協同的（協働的）・探究的な学習に取り組み、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画する態度を育てる

◆各学校が設定する目標：上記を踏まえて、各学校が目標を設定し、その目標を踏まえた内容を定める。

【小学校】

< 探究的な見方・考え方 >「各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会や実生活の文脈や自己の生き方と関連付けて問い続けること」

◆学習指導要領で示す目標（イメージ）

探究的な見方・考え方を働かせ、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えることを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- 課題（学習対象）に関する概念的知識を獲得し、課題の解決に必要な知識や技能を身に付け、探究的な学習のよさを理解するようにする
- 実社会や実生活の中から問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する力を育成する
- 主体的・協同的（協働的）・探究的な学習に取り組み、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画する態度を育てる

◆各学校が設定する目標：上記を踏まえて、各学校が目標を設定し、その目標を踏まえた内容を定める。

各教科等の見方・考え方を、総合的な学習の時間で総合的・統一的に活用

各教科等

各教科等の見方・考え方が、多様な文脈で使えるようになるなどして、確かなものになり、「深い学び」を実現

■小学校

	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ■問題状況の中から課題を発見し設定する ■解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる 	<ul style="list-style-type: none"> ■手段を選択し、情報を収集する ■必要な情報を収集し分析する 	<ul style="list-style-type: none"> ■問題状況における事実や関係を把握し理解する ■多様な情報の中にある特徴を見付ける ■課題解決を目指して、事象を比較したり、関連付けたりして考える 	<ul style="list-style-type: none"> ■相手や目的、意図に応じて分かりやすくまとめ、表現する ■学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとする
探究活動と自分自身	<ul style="list-style-type: none"> ○課題の解決に向けて探究活動に主体的に取り組もうとする（主体性） ○自分らしさを発揮して探究活動に向き合い、課題解決に向けて取り組もうとする（自己理解） ○探究的な課題解決の経験を自信につなげ、次の課題へ進んで取り組もうとする（内面化） 			
探究活動と他者や社会	<ul style="list-style-type: none"> ○課題の解決に向けて探究活動に協同的に取り組もうとする（協同性（協働性）） ○異なる意見や他者の考えを受け入れながら探究活動に向き合い、目標の達成に向けて取り組もうとする（他者理解） ○探究的な課題解決が実社会・実生活への興味・関心へとつながり、進んで地域の活動に参加しようとする（社会参画、社会貢献） 			

知識

実社会の課題に関する事実的知識^(※)の獲得

概念的知識^(※)の形成

※総合的な学習の時間で扱う内容は各学校において定めることとなっているため、知識の具体は各学校において異なる。

技能

課題設定のスキル

情報収集のスキル

思考のスキル

表現のスキル

(比較・分類・関連付け)

■知識は、学校種が上がるほど高度化・構造化する ■技能は、思考スキルを中核とし、学校種が上がるほど自覚化・脱文脈化する

■ 中学校

	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ■複雑な問題状況の中から適切に課題を設定する ■仮説を立て、検証方法を考え、計画を立案する 	<ul style="list-style-type: none"> ■目的に応じて手段を選択し、情報を収集する ■必要な情報を収集し、多角的に分析する 	<ul style="list-style-type: none"> ■複雑な問題状況における事実や関係を把握し、自分の考えを持つ ■視点を定めて多様な情報を分析する ■課題解決を目指して、事象を比較したり、因果関係を推測したりして考える 	<ul style="list-style-type: none"> ■相手や目的、意図に応じて論理的に表現する ■学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かす
探究活動と自分自身	<ul style="list-style-type: none"> ○課題に誠実に向き合い、課題の解決に向けて探究活動に主体的に取り組もうとする（主体性） ○自分のよさを生かしながら探究活動に向き合い、責任をもって計画的に取り組もうとする（自己理解） ○探究的な課題解決の経験を自己の成長と結び付けて考えることができ、次の課題へ積極的に取り組もうとする（内面化） 			
探究活動と他者や社会	<ul style="list-style-type: none"> ○互いの特徴を生かすなど、課題の解決に向けて探究活動に協同的に取り組もうとする（協同性（協働性）） ○異なる意見や他者の考えを受け入れながら探究活動に向き合い、互いを理解しようとする（他者理解） ○探究的な課題解決が社会の形成者としての自覚へとつながり、積極的に社会活動へ参加しようとする（社会参画、社会貢献） 			

知識

実社会の課題に関する事実的知識^(※)の獲得

概念的知識^(※)の形成

※総合的な学習の時間で扱う内容は各学校において定めることとなっているため、知識の具体は各学校において異なる。

技能

課題設定のスキル

情報収集のスキル

思考のスキル

表現のスキル

(比較・分類・関連付け・多面的)

■知識は、学校種が上がるほど高度化・構造化する ■技能は、思考スキルを中核とし、学校種が上がるほど自覚化・脱文脈化する

■ 高等学校

	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 複雑な社会状況を踏まえて課題を設定する ■ 仮説を立て、それに適合した検証方法を明示した計画を立案する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 目的に応じて臨機応変に適切な手段を選択し、情報を収集する ■ 必要な情報を広い範囲から迅速かつ効果的に収集し、多角的、实际的に分析する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 複雑な問題状況における事実や関係を構造的に把握し、自分の考えを形成する ■ 視点を定めて多様な情報から帰納的、演えきの考察する ■ 事実や事実間の関係を比較したり、複数の因果関係を推理したりして考える 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 相手や目的、意図に応じて手際よく論理的に表現する ■ 学習の仕方や進め方を内省し、現在及び将来の学習や生活に生かす
探究活動と自分自身	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題に真摯に向き合い、より適切な課題の解決に向けて探究活動に主体的に取り組もうとする（主体性） ○ 自分の特徴を生かし当事者意識と責任感をもって探究活動に向き合い、計画的に着実に取り組もうとする（自己理解） ○ 探究的な課題解決の経験の蓄積を課題解決への信念や自信、自己肯定へとつなげ、更に高次の課題に取り組もうとする（内面化） 			
探究活動と他者や社会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 互いを認め特徴を生かし合うなど、課題の解決に向けた探究活動に協同的に取り組もうとする（協同性（協働性）） ○ 異なる意見や他者の考えを受け入れながら探究活動に向き合い、互いを尊重し理解しようとする（他者理解） ○ 探究的な課題解決の経験の蓄積が、自己有用感や実社会・実生活に貢献しようとする態度へとつながり、社会の形成者としてよりよい社会の実現に努めようとする（社会参画、社会貢献） 			

知識

技能

実社会の課題に関する事実的知識^(※)の獲得

概念的知識^(※)の形成
学ぶことの意義や価値の理解

※総合的な学習の時間で扱う内容は各学校において定めることとなっているため、知識の具体は各学校において異なる。

課題設定のスキル

情報収集のスキル

思考のスキル

表現のスキル

(比較・分類・関連付け・多面的・構造的)

■ 知識は、学校種が上がるほど高度化・構造化する

■ 技能は、思考スキルを中核とし、学校種が上がるほど自覚化・脱文脈化する

3

探究・・・物事の本質を探って見極めようとする一連の知的営み

高等学校における総合的な探究の時間、課題探求、理数探究

- 総合的な探究の時間については、学習の過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を**総合的**に働かせながら、それらを組み合わせたり**統合**させたりし、「探究の見方・考え方」として働かせることができるようにしていく。

課題研究、理数探究については、学習の過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を**総合的**に働かせながら、それらを組み合わせたり**統合**させたりして働かせることができるようにしていく。

- そうした過程を通じて、自己の**在り方生き方**に照らし、自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら、自ら問いを見出し探究することのできる力を育成する。

小・中・高等学校における各教科

- 各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせた学習の過程を通じ、各教科の本質的な理解等に向けて探究することのできる力を育成する。
- 各教科の本質的な理解等に向かうことが重要であることから、問いについては教師が効果的に設定しながら、学習者が知識を相互に関連付けてより深く理解できるようにしていく学習場面を設定する場合と、学習者自身が問いを見出すことができるような学習過程を設定する場合とがある。

小・中学校の総合的な学習の時間

- 学習の過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を**総合的**に働かせながら、それらを総合させて「探究的な見方・考え方」として働かせることができるようにしていく。
- そうした過程を通じて、自ら問いを見出し探究することのできる力を育成するとともに、探究的な学習が自己の**生き方**に関わるものであることに気付くことができるようにする。

※上記のような力を育成する手立て(学習のプロセスや学習活動)としての「探究」が各教科等で行われている。
(各教科等によって、学習のプロセスや学習活動は異なる。)